

## 令和8年度第1回西予市総合教育会議 会議録

### I 開催した日時及び場所

令和8年4月24日（金）午後4時00分から午後4時42分まで  
西予市役所 5階 大会議室3

### II 出席した構成員

西予市長 管家 一夫  
西予市教育委員会  
教育長 山住 哲司 教育委員（教育長職務代理者）酒井 史朗  
教育委員 兵頭 美和 教育委員 藤森 美佳  
教育委員 三好 敏博

### III 会議に出席した職員

教育部長 谷川 和久 教育総務課長 宮中 英希  
学校教育課長 宇都宮 晋 まなび推進課長 高木 邦宏  
教育総務課長補佐 山本 裕樹 教育総務課長補佐 柿原 稔広  
学校教育課長補佐 清家 真二 学校教育課長補佐 薬師寺ふみ  
学校教育課管理係長 久保田 学 まなび推進課長補佐 往田 剛

### IV 傍聴者

1名

### V 協議事項

報告

西予市立学校における働き方改革推進計画（業務量管理・健康確保措置実施計画）について

協議

- （1）教育職員の働き方改革に取り組む背景について
- （2）働き方改革についての教育職員の意見について
- （3）学校の役割と地域の役割について
- （4）市教委としての取組と課題

### VI 協議の内容

宮中課長	定刻となりましたので、ただいまから令和8年度第1回西予市総合教育会議を開会いたします。 初めに管家市長からあいさつをいただきます。
------	--

<p>管家市長</p>	<p>皆様、本日はご多用のところ、令和8年度第1回西予市総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>日頃より、本市の教育行政、学校運営の充実にご尽力をいただいておりますことに対しまして、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日の総合教育会議は、「学校における働き方改革」をテーマとして開催いたします。</p> <p>ご承知のとおり、近年、教育現場を取り巻く環境は大きく変化しており、教育職員の長時間勤務や業務の多忙化が、全国的にも大きな課題となっております。</p> <p>こうした中、給特法の改正により、市町村においても、働き方改革推進計画の策定やその実施状況について、総合教育会議の場で報告し、首長部局と教育委員会が共有しながら取り組んでいくことが求められるようになりました。</p> <p>本日の会議は、その制度的な位置付けを踏まえ、本市として初めて行う意見交換の場でもあります。</p> <p>西予市の将来を担う子どもたちに、質の高い教育環境を提供していくためには、教育現場の努力だけに頼るのではなく、家庭・地域・行政がそれぞれの立場で役割を果たし、連携していくことが不可欠であると考えております。</p> <p>本日は、教育現場の実情や課題を共有させていただきながら、市としてどのような支援ができるのか、率直な意見交換ができればと思っております。</p> <p>限られた時間ではございますが、実りある会議となりますよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。</p>
<p>宮中課長</p>	<p>続きまして、山住教育長があいさつを申し上げます。</p>
<p>山住教育長</p>	<p>教育委員会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>市長におかれましては、お忙しい日程を割いての開催、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の総合教育会議では、「西予市立学校における働</p>

	<p>き方改革推進計画」についてご報告申し上げ、その内容を踏まえ、意見交換を行うこととしております。</p> <p>先程、市長からもございましたが、昨今の教員の労働時間の延長、業務の複雑化による負担が増えている状況にあります。それを背景に教員を目指す若者が減少し、人材不足が深刻化している状況もございます。これらの対策を早期に講じることが必要であると認識しております。</p> <p>本計画でございますが、教育職員が心身ともに健康で、やりがいを持って働くことができる環境を整えるとともに、子どもたち一人ひとりと向き合う時間を確保し、教育の質を高めていくことを目的として策定したものです。</p> <p>教育現場からは、「子どもたちのためであれば努力はいとわない」という前向きな声がある一方で、現状の業務量や体制のままでは改革を進めることが難しいという切実な声も多く聞かれております。</p> <p>教育委員会としても、学校だけに負担を抱え込ませるのではなく、地域や行政と役割を分担・共有しながら、持続可能な教育環境を構築していくことが重要であると考えております。</p> <p>本日の会議が、教育委員会の取組や現場の実情について、市長部局と共通理解を深め、今後の連携をより一層強化していく機会となれば幸いです。</p> <p>どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。</p>
<p>宮中課長</p>	<p>それでは、協議事項に移らせていただきます。</p> <p>ここからの進行は、西予市総合教育会議運営要綱第4条第1項により、管家市長をお願いいたします。</p>
<p>管家市長</p>	<p>それでは、本会議を主催する立場から進行を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、まずはじめに、3月に策定されました「西予市立学校における働き方改革推進計画（業務量管理・健康確保措置実施計画）について」事務局から説明をお</p>

宇都宮課長

願います。

学校教育課の宇都宮です。よろしく願います。

西予市立学校における働き方改革推進計画（業務量管理・健康確保措置実施計画）についてご説明いたします。

学校における働き方改革につきましては、平成 29 年度の教員勤務実態調査速報値が公表され、教師の時間外勤務についての厳しい実態が明らかになりました。その後、2 度の給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）の改正により、学校における働き方改革を教育委員会、学校、国が一体的に推進していくこととなり、教職調整額の引き上げによる処遇改善や働き方改革推進計画及び業務量管理・健康措置が義務化されました。

これにより、市教育委員会といたしまして、本年 4 月 1 日からの施行を目指して、働き方改革推進計画策定に取り組んでまいりました。

令和 7 年 11 月の第 1 回西予市立学校における働き方改革検討委員会の開催から、教員へのアンケートの実施や推進計画に係る各校の意見聴取、教育委員会定例会での意見聴取、第 2 回働き方改革検討委員会、第 3 回教育委員会定例会の承認を経て策定いたしました。

本計画は、教育職員が「心身ともに健康で、やりがいを持って働ける環境を整備すること」、「子どもと向き合う時間を確保し、有効に時間を活用できる仕組みを学校現場と協働して構築すること」、「教職員のウェルビーイングを確保することにより、高度な専門性を有する教職員の育成に寄与すること」を目的としております。

計画には、今年度までの本市の取組や現状、実施する業務量管理・健康確保措置の内容を示しました。主に、「業務の適正化・効率化」「健康及び福祉の確保」を取り組む内容として挙げております。

「業務の適正化・効率化」につきましては、「業務の 3 分類」を踏まえた業務の見直しが重要であると考えております。

「健康及び福祉の確保」につきましては、業務負担の

<p>管家市長</p>	<p>平準化、勤務時間管理と面接の実施、メンタルヘルスケア等を記載しました。</p> <p>今後につきましては、校長会、教頭会等の各部会において、評価・検討を行うとともに、検討委員会で、報告や提案内容について継続して検討することにしております。また、教育委員会としましては、引き続き、時間外在校等時間の状況把握やHPでの公表、情報発信に努め、保護者、地域の理解を促進し、協力を得られるように努めて参ります。</p> <p>この推進計画が、単に勤務時間を短縮することを目的とするのではなく、始めに述べましたような目的が達成されるように取り組んで参ります。以上で説明を終わります。</p> <p>働き方改革推進計画の概要について説明ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより協議に移りたいと思います。ただいま報告のありました働き方改革推進計画について、より認識が深められる有意義な時間になればと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは改めてお伺いします。この計画を策定するにあたって、学校現場の状況など、ご確認されたことと思いますが、市内の学校の現状について、教えていただけますでしょうか。</p>
<p>兵頭委員</p>	<p>学校の現状について私の方からお答えさせていただきます。</p> <p>策定した計画にも載せているとおり、西予市の教育職員の時間外在校等時間は依然として高い水準にあり、令和7年4月～12月の実績では、小学校・中学校ともに約半数の教育職員が月45時間を超えている状況です。</p> <p>教育職員の情熱をもって、献身的に職務に取り組む姿勢は、「子どもたちのため」という使命感から生まれてくるものではありませんが、長時間勤務を余儀なくされ、その常態化している働き方では職員が疲弊し、結果「子どもたちのため」とはならず、教育の質にも、影響が出て</p>

	<p>くるのではないかと思います。</p> <p>このままの状態では、教育職員の健康面だけでなく、教員志望者の減少にもつながり、教員不足に拍車がかかります。</p> <p>その背景には、学校現場の業務が年々複雑化していることがあります。これまでに業務改善に取り組んできてはいるものの、授業の準備や成績処理に加え、ICT活用指導、英語教育の拡大、特別支援や不登校対応、保護者対応など、授業以外の業務が増え続けているのが現状です。教育職員のアンケートでも「報告書作成」「学校行事」「保護者対応」などが負担として挙げられています。</p> <p>また、GIGA端末や校務DXの導入によりデジタル化は進んでいますが、新たな取り組みには知識、技術の習得が必要で単に負担軽減につながるだけのものではありません。また、保護者からの相談や過剰な要望等が年々増加し、学校だけでは対応が難しいケースもでてきているという現状がございます。</p>
<p>管家市長</p>	<p>ありがとうございます。学校においては長時間勤務の常態化は以前から問題視されていましたが、教育職員が本来取り組むべき以外の業務が増えている状況であるとのことですが、そういった現状を踏まえて教育委員会としてはどのような対策が重要だとお考えでしょうか？</p>
<p>兵頭委員</p>	<p>教育職員が「子どもと向き合う時間」を十分確保し、教育の質の更なる向上を目指すためには、業務の精選や見直しによって教育職員の子どもの関わる時間以外の負担を軽減する対策が必要不可欠です。</p> <p>計画にも示しているとおり、学校以外が担うべき業務の移行や教育職員以外が参画できる業務の整理、またICTの活用による業務の効率化や部活動の地域展開など、構造的な改革も必要です。働き方改革は、単に時間外在校等時間を減らすだけのものではなく、本来の業務である学習指導や生徒指導に集中できるよう業務量を適切に管理し、教育職員が心身ともに健康でやりがい</p>

<p>管家市長</p>	<p>持って働ける環境を整えることが、子どもたちへのより良い教育につながるという視点で進めることが重要だと考えます。</p> <p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>働き方改革は、教育職員の負担軽減だけではなく、当市の教育の質の向上を目指すということが本質であるということが良くわかりました。</p> <p>今回の取組に対して、現場の先生はどのように考えられているのか、どのような声があるのか、教えていただけますでしょうか。</p>
<p>藤森委員</p>	<p>私の方からお答えさせていただきます。</p> <p>計画策定にあたり、先生方とお話する機会をいただきました。その際に授業の充実など児童の教育のためであれば、どれほど忙しくてもストレスではない、やりがいを感じているという声を多数伺いました。</p> <p>その際、私たちは 18 時に失礼したのですが、先生方は残って打ち合わせを続けられていましたし、翌朝、7 時の段階で、すでに窓を開けて換気をし、机の上には教材が置かれていました。子供たちのやる気を引き出すために、準備されているのだと、先生方の教育指導への情熱と日々の努力に深く感銘を受けました。</p> <p>多くの先生方が長時間勤務の改善、業務の適正化、これらは教育の質を維持する上でも重要であるという認識を持たれています。</p> <p>今回の働き方改革の中で、時間外在校等時間の基準を提示しておりますが、教育の本質的な部分を大切にしたいという思いは強くあります。『時間管理』が目的化し、現場の情熱を削り取ってしまわぬよう教育委員会としても教育現場との対話を重ね、常に改革をブラッシュアップさせていきたいと考えています。</p> <p>その一方で先生方の熱意に甘え、事務作業や、登校指導も含めた教育分野以外の膨大な周辺業務に忙殺されている現状を放置してはならないと強く感じました。</p>

<p>管家市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>現場の先生方は、子どもたちと関わる時間においては「やりがい」を感じながら積極的に対応いただいていること、当市の教育について大変心強く感じました。</p> <p>子どもたちと関わる時間を更に質の高い時間とするために、今回の計画のような業務の改善は重要だという認識を持たれているということですね。計画策定にあたり先生方から強く要望されたことなどはありますか？</p>
<p>藤森委員</p>	<p>学校での聞き取りにおいて、多くの先生方から『現状の仕事量と人員配置のままでは、改革は現実的ではない』という切実な意見を耳にしました。</p> <p>特に、より質の高い教育を提供し、児童生徒一人ひとりに寄り添うためには、学校の努力だけでなく、家庭・地域、そして行政による公的な支援と、それぞれの役割分担に対する深い理解と協力が必要です。</p> <p>また、改革を行っていくには、現場にも大きな負担が生じます。</p> <p>単なる労働環境の改善ではなく、教育水準を維持と西予市の教育を将来にわたって発展させていくため、少なくとも改革に必要なサポートに係る人員を確保し、余裕を持って教壇に立てる環境を作っていかなければならないと感じています。</p> <p>市としても学校支援員やスクールサポートスタッフ等の予算についてご理解をいただいているところですが、引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。</p>
<p>管家市長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。学校生活支援員やスクールサポートスタッフについては、市として頑張っているところではありますが、充分ではないという現場の声なのかと思いました。現場の声を聞きながら改善について考えていきたいと思います。</p> <p>学校現場だけの努力には限界があり、家庭・地域・行政それぞれが役割を理解し、支えていくことが重要であると感じましたが、次に、計画に示されている「学校と教師の業務の3分類」について、教育委員会としてのお</p>

<p>山住教育長</p>	<p>考えをお聞かせください。</p> <p>業務の3分類について、私の方からお答えさせていただきます。</p> <p>この取組を進めるうえで、学校における働き方改革は、学校だけで進められるものではなく、地域・家庭・行政が、それぞれの立場で役割を担い、協力して進めていくための共通理解が、特に大切だと教育委員会は考えています。</p> <p>計画に示している「業務の3分類」とは、文部科学省が、教師が本来の業務にしっかりと集中できるよう、学校の業務を「学校以外が担うべき業務」、「教師以外が積極的に参画すべき業務」、「教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務」の3つに整理したものです。</p> <p>この3分類に基づいて取組を進めることで、学校の教職員はもとより、学校に関わる市民の皆様にも、教職員の役割について、より明確にご理解いただくことができると考えています。</p> <p>文部科学省が示す3分類には、全部で19の項目がありますが、教育委員会では、学校や教職員へのアンケート結果を参考にして、特に優先して取り組むべき事項を選定し、本計画に盛り込んでおります。</p> <p>各学校においては、学校運営協議会で、この推進計画にもとづいて、協議を行い学校の実情に応じて、順次進めていくこととなります。</p> <p>こうした協議を通して、学校・地域・家庭・行政が、それぞれの役割を理解し、連携して改革に取り組むことが、子どもたちを、より良い環境で支えていくうえで重要であると考えています。</p> <p>また、3分類のうち、「学校以外が担うべき業務」として整理している、保護者からの相談や過剰な要望への対応についても、学校の業務に対する理解が進むことで、状況の改善が期待できると考えています。</p> <p>また、「教師以外が積極的に参画すべき業務」として、部活動の地域展開を計画に盛り込んでおり、段階的に教師の負担軽減を図ってまいります。</p>
--------------	---

<p>管家市長</p>	<p>「西予市立学校における働き方改革推進計画」を実践するため、学校・家庭・地域の皆様と教育委員会が力を合わせ、教師が子どもと向き合う時間を確保できるよう改革を進めてまいります。以上でございます。</p> <p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>家庭、地域、行政などそれぞれが、学校の役割を正しく理解してことが重要だと感じました。各学校には、学校運営協議会があって、地域の方も迎えられていますし、いろいろな方の目で学校の実情をご理解いただけたと思います。また、西予市の特徴である小規模校でも、それらが充実して、それぞれの役割があることが理解できると計画も前に進むと思います。</p> <p>それぞれの役割を正しく理解していただくための情報発信、ともに取り組みを進めるということが改めて重要だと感じました。これから、働き方改革を本格的に進めていくわけですが、既に教育委員会で負担軽減を目的に取り組まれているものにはどういったものがあるか教えていただけますか。</p>
<p>三好委員</p>	<p>私の方からお答えさせていただきます。</p> <p>昨年度の11月から大野ヶ原・惣川小学校を除く15校で施行運用を開始した自動応答機能と録音機能ですが、12月に行ったアンケート調査において15校中13校が職員の負担が軽減されたと回答があり、一定の効果は見込めるものと判断しております。</p> <p>その効果としては、自動応答時間以降の電話連絡の減少により、業務に集中できる時間が増えたこと、また、業者等の勧誘などの学校側が求めている電話対応が減少することで、職員の心理的な負担も軽減されたとの報告も受けております。</p> <p>ただし、放課後の水泳・陸上練習等の課外活動に応じた学校毎の自動応答時間の設定や、保護者からのコールバック等に対応できるナンバーディスプレイ電話機の増設、手動となっている録音機能の自動化等、運用での課題も見えてきておりますので、引き続き検証を行い、</p>

<p>管家市長</p>	<p>導入効果を高めていきたい考えでございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>時間外の電話については、保護者にもご理解いただいているところで一定の成果が生まれていることと思います。引き続き地域の皆様のご理解とご協力を得ながら業務改善につなげていってください。</p> <p>その他、計画の中にもありました、部活動の地域展開についてお聞かせください。随時、HPで情報発信しながら取組を進めていただいているところですが、現状について改めてお聞かせいただけますか。</p>
<p>三好委員</p>	<p>現在、教育委員会としては、昨年度作成したロードマップに沿って取り組みを進めており、今年度から全員部活動制を廃止したところでございます。</p> <p>保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、慎重に取り組みを進めているところでございます。</p> <p>部活動の地域展開は、教員にとっては部活動指導の負担が軽減され、授業準備や生徒支援など本来業務により集中できる環境づくりの他、子どもたちにとっても、専門的な指導者から質の高い指導を受けられる機会が増えることや、多様なスポーツや文化芸術活動に触れることができたりします。</p> <p>また、他校の生徒や地域の大人と交流したりすることで、新たな人間関係から豊かな体験を得ることができ、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、より充実した活動につながることを期待されています。</p> <p>そういった環境を整備するためには、学校・地域・関係者の連携体制を確立させることが重要であり、持続可能な指導者等の受け皿の確保が必要となります。</p> <p>まちづくり推進課とも連携して対応を協議しているところでありますので、市長部局において、引き続きご協力をお願いいたします。</p>
<p>管家市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>部活動の地域展開は、西予市の子どもたちはもちろ</p>

酒井委員	<p>ん、住民生活においても大きな変化となる重要な取組と考えております。</p> <p>地域スポーツクラブや競技団体の方、生涯スポーツの観点も重要だと思います。</p> <p>市としても教育委員会と連携し、より良い改革となるよう力を入れて進めてまいりたいと考えております。</p> <p>大きな課題もあります。指導者の確保の問題。財政的な支援も必要になるかと思えます。財源の裏付けについても頑張っていきたいと思えます。</p> <p>酒井委員にお伺いいたします。教育職員として長いご経験をお持ちですが、今回の計画について経験を踏まえたご意見をお聞かせください。</p> <p>私が教職についた今から 44 年前も、児童生徒を家に帰した後、ドリルやテストの丸つけをしたり、日記をみたり、翌日の授業の準備をしたり、児童生徒の情報交換をしたりするなど夜遅くまで学校に残って仕事をしている教職員がいました。夜遅くまで電気がついているので提灯学校なんて言われていたこともありました。ひょっとしたら当時は、今よりも長時間勤務だったかも知れません。</p> <p>しかし、そのような状況の中でも、教職員が負担を感じたり、働き方を変えなければというような話をしたりすることはなかったように思います。それは、どうしてか。今思えば教職員本来の仕事が思う存分できていたからだと思えます。</p> <p>しかしながら現在は、兵頭教育委員さんが話されたように、学校や子ども、家庭や地域を取り巻く様々な環境の変化等により教育職員の業務量が大幅に増え、残念ながら教育職員の本来の使命である「子どもの教育を司る」という業務が十分できていない状況にあり、教育職員のモチベーションを下げている大きな原因になっています。</p> <p>働き方改革というと勤務時間の削減ばかりに目がいかってしまいがちですが、肝心の業務量が減らないかぎり真の意味での働き方改革にはつながりません。真の働き</p>
------	---

方改革を進めるには、「マンパワー」と「業務の精選」の2つに限ると思います。

「マンパワー」の重要性は、先ほど藤森教育委員さんとも言われました。これは間違いなく勤務時間の削減とゆとりを生み出します。ただこれには財政面でのご支援が必要になります。改めて市長さんには、ご理解とご支援をお願いいたします。

一方、「業務の精選」については、学校は長い間検討し続け、見直しを重ねてきました。もう学校でできること全てやり切ったと言っても過言ではありません。今後は、先程、教育長が申されたとおり、働き方改革推進計画に示されている「業務3分類」を踏まえた業務の見直しを、徹底的にかつスピーディーにそして大胆に推し進めていただく以外に方法はないと思っています。

分類1の「学校以外が担うべき業務」の中の学校徴収金の公会計化は、来年度から実施予定となっており、学校は大変喜んでいると思います。

さらに、もう一つ「保護者からの過剰な苦情」につきましても、学校だけに対応を任せるのではなく、教育委員会や行政が協力して対応できる体制を1日でも早く作っていただくよう強く希望いたします。

また分類2の「教師以外が積極的に参画すべき業務」では、三好教育委員から話しがあつた「中学校の部活動の地域展開」が最重要課題です。部活動の地域展開は、教育職員の勤務時間を確実に削減し、働き方改革に直結します。しかしながら、教育職員に代わる指導者の確保という大きな課題があります。教育委員会もこの課題を解消すべく指導者の選定・確保に全力を注いでいますが、この課題は学校と教育委員会だけの努力ではクリアできません。もっと幅広い方々に問題を共有していただくと共に、行政はもちろん市全体で考えていくべきものだと考えています。部活動の地域展開は待ったなしです。是非よろしく願います。

もちろん、先程三好教育委員が申された自動応答電話など、いくつかの対策が成果に繋がっている事例もあり学校現場も大変喜んでおります。財政上厳しい問題もあ

<p>管家市長</p>	<p>るでしょうが、今後とも引き続きご支援をお願いいたします。</p> <p>業務量を削減し、教育職員がゆとりと充実感を感じながら、自信を持って日々の教育活動に邁進できる。そのことがひいては児童生徒の健やかな成長にもつながります。</p> <p>この働き方改革推進計画が絵に描いた餅で終わらないよう、教育委員会としても、現場の教育職員の声に耳を傾けながら常に進捗状況を点検し、評価し、見直しに努め、教育職員一人一人の負担感が充実感に変わっていくよう努めていくことが重要だと考えています。</p> <p>一方的なお願いばかりになってしまいましたが、市長さんの強いリーダーシップのもと、この働き方改革推進計画が行政はもちろん、地域の方々、市民のみなさまのご理解とご支援のもとスムーズに、そして大胆に推し進めることができますようご支援・ご指導よろしくをお願いいたします。以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>酒井委員のお話をお伺いして、学校や子ども、家庭や地域を取り巻く様々な環境の変化に対応していくことが重要と感じましたし、市役所も同様であると改めて実感いたしました。市としても時代の進化に対応するため、オフィス改革等に力を入れているところですが、完成したものではありません。しかし大きく環境と働き方というものは変わってきています。</p> <p>教職員の本来の使命である「子どもの教育を司る」という業務に全力で取り組める環境づくりについて、市としても精一杯協力していきたいと考えておりますので、今後ともみなさまよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、計画策定の報告を受けまして、私の方でお聞きしたかった点についてはお聞かせいただきました。</p> <p>せっかくの機会ですが、その他に教育委員の皆様から何かございませんでしょうか。</p> <p>特に内容でございますので、会を閉じさせていただきたいと思います。</p>
-------------	---

宮中課長	<p>本日は「学校における働き方改革推進計画」の策定についてのご報告いただきありがとうございました。</p> <p>ご報告いただきました推進計画については、市としましても可能な限りご支援できればと考えておりますので、引き続き、市の教育行政の充実についてご尽力いただきますようお願いをいたします。</p> <p>以上で協議を終了したいと思います。</p> <p>それでは、進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>それでは、長時間にわたりまして、意見交換を行っていただきありがとうございました。</p> <p>それでは以上で、総合教育会議を閉会とさせていただきます。貴重な時間をいただき誠にありがとうございました。(午後4時42分閉会)</p>
------	--